

実施した対策、投資額と削減効果

社	対 策	投資額	削減効果（年）
A社	個別空調		1台の節約効果2.74kWhを16台。完全完了してセントラル空調を止めた場合に年間116k1の削減効果。
B社	工場に省エネ設備を導入。 ①ポンプの容量を見直して小型化し高効率モーターの採用で省エネを図る（ターボ冷凍機冷却水系2台、地上階冷水2次系2台、輸転・給紙冷水2次系2台、全館空調温水系1台）。 ②冷凍機4台中2台と同付帯機器（ポンプ類2台）を更新する。 ③2000年以前に導入した室外機16台、室内機51台を省エネ性能に優れた最新のエアコンに更新する。 ④消費電力の高いツイン球、スポット球、水銀灯などをLEDに交換（940台）、24時間点灯している誘導灯ランプをLEDに交換（257台）。		①15万kWh削減 ②20万kWh削減 ③4万kWh削減 ④17万kWh削減 ①～④で、原油換算では前年比92.3%（2013年4,516k1→2014年4,168k1）
C社	東京本社ビルで熱源ポンプ起動条件の変更工事（ソフト変更）を実施。従来の設定では空調機が1台でも稼働するとポンプが運転する制御となっており、冬季など冷房要求が少ない時でも運転してしまう。設備員が空調の監視画面を見ながら冷房要求に応じて手動停止・手動運転を行い、とても高い省エネ効果を得たことで自動化とした。起動・停止の条件設定を細かく行い手動操作より確実に、より精度を高めた省エネ化を進めている。	360万円	これからの運用で削減効果を分析する。
D社	①選挙システムサーバーの更新（本社） ②マルチハロゲン灯をLED照明に転換（工場） ③工場の冷凍機の更新		①4 k1 ②27.5 k1 ③3.3 k1
E社	省エネ型蛍光灯（工場）	50万円	数値は把握していない
F社	事務所エリアの照明LED・センサー化	9500万円	（電力のみ） 照明のみ 19,000kWhの削減 （2013年度比-1.9%） 建物全体 298,000kWhの削減 （2013年度比-2.8%）
G社	共用通路などの照明の一部をLED化	330万円	0.9k1
H社	・本社工場：①LED照明（毎年段階的に）②電気室給気・排気ファンモーターのインバーター化 ・A支社の天井照明LED化 ・B支社共用部LED化	・工場：計38万円 ・A支社：約800万円 ・B支社：約260万円	・本社工場：試算できず ・A支社：年間約15,739kWh削減 ・B支社：年間約13,111kWh削減
I社	①40Wの2灯用蛍光灯200台をLED化 ②システム部サーバー室空調機3台をインバーター化	①250万円 ②980万円	①5.4k1 ②25.1k1
J社	本社廊下照明のLED化、外灯のLED化	490万円	

社	対 策	投資額	削減効果（年）
K社	40W直管蛍光灯をLEDに取り替え（2015年2月）	約360万円	導入後、5,260kWh/月の削減
L社	LED照明器具の一部更新	104万円	7,000kWh
M社	工場のコンプレッサー用冷却水ポンプ省エネ制御	132万円	・電力採取期間中（2週間）での総合電力削減率が73.5%。年間51,343kWh削減予測
N社	①役員フロアの照明電球をLED電球に更新 ②印刷工場の事務所系エアコンを更新	①15万円 ②68万円	①原油換算 5 k1 ②不明
O社	本社の空調設備、老朽化したボイラー・冷凍機を熱源とするセントラル空調から個別空調に更新	2900万円	調査中
P社	空調設備リプレース トラックヤード高所部照明のLED化		原油換算4.7k1削減
Q社	蛍光灯40W型LED球195本交換	約75万円	約5k1
R社	LED照明	約330万円	約43,000kWh削減予定
S社	印刷センター工場、事務所の照明器具更新（省エネ蛍光灯の導入、2015年3月から）	614万	583,800kWh（2014年4～6月） 573,020kWh（2015年4～6月） 10,780kWh削減